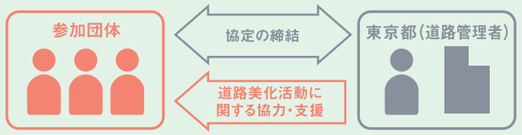
「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してみませんか?

■「東京ふれあいロード・プログラム」とは

地域の住民や企業の皆様と東京都が協力して、道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を行うことにより、道路利用のモラル向上と潤いのある道路空間の創出を目的とする制度です。



対象となる活動	対象となる活動は、都道で行う次の(1)、(2)に該当する活動です。	
	1	**清掃活動** 清掃活動とは、紙くず・空き缶・吸殻・落ち葉などを拾う活動です。
	2	**緑化活動** 緑化活動とは、植栽の手入れ・花苗の植替え・種まき等を行う活動です。
対象となる団体	東京都内の自治会、町内会、商店会、学校、企業、NPO法人、ボランティア団体等	
活動場所	都道の歩道部分(供用を開始した道路)	
募集期間	随時募集しています	
活動期間	年間を通じて活動することとし、特に期間は定めない。	
活動に係る支援等	原則として、無償で活動していただきますが、活動の補助として、活動用具等の費用の一部支援を受けることができます。	
	支援の内容	
	活動費の支援(1年間 最高8万円まで)※	
	活動区域内へのサイン(表示板)の設置	
	※審査の結果、有償団体として認定した団体に限ります。	
認定方法	団体等から、活動を希望する区間(都道)を提示された後、活動の場所等が適切かどうか、東京都が確認した上で認定します。	

- 平成21年4月末現在、94団体が活動しています。情報を公開している活動団体の一覧は、「http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/04_2.html」から確認できます。
- 公社では、東京ふれあいロード・プログラム活動団体を対象に、「清掃用具やジャンパー等の物品支援」を行います。物品支援について、詳しくは「http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/06.html」から。

■「東京ふれあいロード・プログラム」認定までの流れ

新規参加の場合

参加の申込 ▶ 審査 ▶ 協定の締結 ▶ 支援希望 → 活動に係る支援等 / 道路美化活動の開始 ▶ 認定証の交付

更新の場合

▶ 2月末 ▶ 更新の申し出 ▶ 協定の自動更新(1年間) ▶ 支援希望 → 活動に係る支援等 / 道路美化活動の開始 ▶ 認定証の交付

活動の継続

●活動団体 ■東京都

■「東京ふれあいロード・プログラム」についてのお問い合わせ

東京都建設局 道路管理部
路政課 管理係【電話:03-5320-5281(直通)】まで。

登場団体募集中!

TR東京都道路整備保全公社では、ティーアール・マグの東京ふれあいロード・プログラムに登場してくださる団体を募集しています。このページは、皆さんの日頃の活動とその思いを紹介していくページです。自薦、他薦を問いません。ご応募をお待ちしています!

■(社)日本生花通信配達協会　JFTD学園日本フラワーカレッジの活動スケジュール
活動日/月曜日～金曜日(水やり・清掃)、年2回程度(6月と9月頃に全体植替え)　03-5496-0364

1年間という限られた時間の中で、学生たちが一丸となって周辺地域の環境美化を楽しみながらしています。

JFTD学園
日本フラワーカレッジ
校長 今西英雄さん

私どもの学園では、ボランティア活動が必須カリキュラムになっており、この授業の一環として、周辺地域の緑化活動を行っています。東京ふれあいロード・プログラムの活動で行っている、品川区北品川4丁目にある花壇の植栽と周辺の清掃は、地域の環境美化を体験できる貴重な時間となっています。1年間という限られた時間の中ですが、実際に自分たちの手で草花を育て、花壇を整備するということで、花を気づかう気持ちが養われているのでしょう。その効果は大きいと思います。そして地元の皆さんから声をかけられることもあり、自然な形で地域の皆さんとのコミュニケーションができているようです。毎年2月の下旬にカレッジ祭という卒業のプレゼンテーションを行っているのですが、年々見に来てくださる方々も増えてきています。生徒は毎年変わっていきますが花壇は変わりません。ここの花壇=JFTD学園日本フラワーカレッジということを、もっともっと地域の皆さんに認知していただけると嬉しいですね。

JFTD学園
日本フラワーカレッジ
教務・フラワーデザイン常勤講師
石川眞也さん

JFTD学園日本フラワーカレッジは、学園の母体となっている社団法人日本生花通信配達協会(JFTD)が、平成3年に開校しました。ボランティア活動の授業で行っている花植え活動は、平成16年の夏、大崎駅から学園までの途中にある花壇がカリカリに枯れているのを目にした職員が何とかしたいと思ったことに遡ります。当時、土に触れる機会の少なかった学生たちに花壇を探しており、東京ふれあいロード・プログラムについて問い合わせをした結果、花壇を借りることになりました。平成17年4月から東京ふれあいロード・プログラムの活動がスタートし、試行錯誤しながら場所に適応する植物を増やしてきました。同じ年にJFTDがISO14001を取得し、フローリストを育てる花の学校だからできる、植物に関係することで地域に貢献していこうという思いも強くなってきました。学生にとってこの授業は、地域の皆さんとの交流の場でもあり、実際に土を使って植物の成長過程を知る貴重な体験場所になっていると思います。

みんなで育てる東京の道 東京ふれあいロード・プログラム

TR-mag. Focus

参加団体訪問-17 (社)日本生花通信配達協会 JFTD学園日本フラワーカレッジ(品川区)

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうるおいと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。平成21年4月末現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してくださっている団体は94団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体に対し、清掃グッズやジャンパー等を支援、活動費用の助成をしています。このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介しています。今号は、品川区で活動されている「(社)日本生花通信配達協会　JFTD学園日本フラワーカレッジ」を訪問いたしました。

フローリストの卵たちが地域の緑化活動のために頑張っています。花壇は花を気づかう思いにあふれた癒しの空間になっています。

山手通りの居木橋交差点にある花壇は、植物の成長によって見え方が変わってくるように設計されているそうです。全体の監修は講師でもある園芸研究家の杉井志織さん。

私たちが育てた花たちをご覧になってください!!

JFTD学園
日本フラワーカレッジの
第19期の皆さん。

花壇までの水運びはハード!!
夏場にはリヤカーで何往復もすることがあり、学生の皆さんが交代でするそうです。

水運びはとにかく体力勝負!

グループごとにエリアを決めて植物の植え込みを担当。杉井先生のアドバイスを参考に、道行く人たちが楽しめることにポイントをおいて、植物の成長やメンテナンスも考えて配置していきます。

植物にとって水はライフライン。花壇のある場所は通学路なのでこまめに土の状態を確認。水やりのタイミングをチェックして、自分たちが育てている草花に愛情をたっぷり注いでいます。

授業のほかにも、月曜日から金曜日のほぼ毎日、6つのグループに分かれてグループ単位で、水やりや下草取り、周辺の掃除をするそうです。

通学の時に花の状態が気になって、自然に花壇を見ちゃいます!

TR-mag. focus Again!

このコーナーでは、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介します。今回は創刊号で登場いただきました「吉祥寺公園通り商店会」です。

「吉祥寺公園通り商店会」のある吉祥寺は、『住んでみたい街アンケート』で常に上位にランクされています。ショッピングや観光で街を訪れる人も多く、商店会では気持ちよく吉祥寺を楽しんでもらおうと、歩道や植込みの美化清掃に力を入れてきました。

「街をきれいにすることが商店会活動の原点だと思います」と話すのは、会長の保谷昌弘さん。月に2回の一斉活動日には、毎回20～30名ほどが集まり、15分という限られた時間の中で集中して周辺の清掃をしています。活動日以外にも、時間がある時にゴミ拾いや掃除をしている会員の皆さんが増えているそうです。「みんなの通りをきれいにしようという思いが高まってきています」と事務局の大河内昇二さん。皆さんの地道な活動が評価され、東京都のモデル地区として表彰されたそうです。

また、できるだけ多くの方に清掃活動に参加してもらえるように、総会や理事会、新年会等、機会があるごとにPR活動をしているそうです。「創刊号のティーアール・マグで紹介されたことで活動を知ったという話もあり、私たちにも刺激になりました」

これからも吉祥寺の街を愛する思いを活動につなげていってください。

植込みに花を植える人たちも増えています。

吉祥寺公園通り商店会の皆さん。地元の商店だけでなく大手企業も参加するチームワークが商店街のパワーになっているようです。

商店の皆さんがオープン前に一斉に清掃。いい一日を迎えるためのスタートになっています。

収集されたゴミの少なさにビックリ。

定例の活動は、毎月第1・第3月曜日の月2回。活動後の有志によるミーティングは活発な意見交換の場になっています。

保谷さん

これからもできるだけ多くの方に清掃活動に参加してもらいたいです!

佐藤さん

山﨑さん

窪田さん

大河内さん

地元の街をきれいにしたいという思いが、私たち商店会を繋げています

橋本さん

村田さん

地元の皆さんの街への思いを知るいい機会になっています

支援されたお揃いのキャップやジャンパーで統一感アップ。

道行く人に清掃活動が注目されるようになったそうです。